

特別企画

# 3K改善

“汚い・きつい・危険”の3K仕事を、  
“きれい・快適・けがなし”3Kに改善

どこの職場にも大なり小なり“3K”がある。しかし、最初は疑問や不安に思った“汚いなー!”、“これはきつい、何とかならないのか?”、“危ない、何とかしなくては!”などということも、いつのまにか慣れてしまって“こういうものだ”、と思い込んで当然のことになっていたり“しかたがない”とあきらめたりして我慢している3K環境と仕事。慣れは改善の敵。慣れると汚れが見えなくなる、慣れるときつさを我慢する、慣れると危険も感じなくなる。仕事に慣れは大切だが、慣れてはいけないこともある。“改善の目”で見回すと、おかしい慣れ、不思議な慣れ、不合理な慣れ、危険な慣れが見えてくる。慣れた小さな3Kをなくすことがいい仕事につながる。日頃の思い込みやあきらめを捨て環境を変えよう。改善でラクにいい仕事、いい商品、いいサービスにしよう。“3K”をキーワードに改善をすると自然に“5S”ができ上がる。

5Sが進まないと悩んでいる職場では“3K改善”をやってみると効果が出る。今回は、やりたくない仕事“3K”をキーワードにした小さな不便・我慢していた不都合・おかしいと思っていた不合理と、ムリ・ムダ・ムラを改善した事例を紹介しよう。改善事例はノウハウ情報、他社・異業種の改善には日頃の自分と仲間の常識や判断基準にはない発想とヒントがいっぱいある。事例を自分の職場にどう活かすかは自分次第、腕次第。改善は自分のため。考える、工夫する“創意と工夫”は毎日楽しくすると同時に自分が成長していくことを実感できるであろう。

齋藤研究室 齋藤 賢明

(イラスト・小林 恵子)

筆者：さいとう まさあき

同研究室代表

所在地：〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町楓ヶ丘4-21-1

TEL：049-296-2834

e-mail：masa\_3813stk@yahoo.co.jp